

# 令和4年度 国土交通大臣賞

募集締切  
令和4年  
6月24日(金)

## <循環のみち下水道賞>

健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組みに対し、国土交通大臣表彰を行っております。

日ごろの取組みを広く発信できるこの機会に、ぜひご応募ください。

### 募集部門

#### Innovation部門

現場における創意工夫や  
新技術の活用等の取組

#### 防災・減災部門

災害対策における  
ソフト・ハード面の取組

#### アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、  
事業運営、人材育成に貢献する取組

#### 広報・教育部門

効果的な広報活動や  
環境・防災教育等の取組

下水道の魅力を伝える絶好のチャンス

下水道 × ?

= 循環のみち

防災・減災

広報・教育

アセットマネジメント

## 循環のみち下水道賞応募について

### ○応募団体

以下の団体や事業者の方が対象です。

- ・地方公共団体
- ・民間事業者
- ・学校、教育機関
- ・水環境保全活動等を行っている  
各種NPO、ボランティア団体、市民団体

### ○応募資料(提出いただくもの)

- ① 応募調書
- ② 審査様式
- ③ 審査様式補足資料（審査様式の内容を補足する資料）
- ④ その他（パンフレット等応募内容を説明する資料。提出は任意です。）

※ 応募資料については、募集開始以降、以下のURLに掲載します。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000496.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000496.html)

### ○提出方法

- ・地方公共団体の方：各地方整備局等へご提出ください。  
(各地方整備局等でとりまとめた後、国土交通本省に提出されます。)
- ・民間団体等の方：事務局へ直接ご提出ください。

### ○応募・選定スケジュール(予定)

令和4年5月16日  
募集開始

令和4年6月24日  
募集締め切り

令和4年7月～8月中  
選定委員会開催

令和3年9月9日  
表彰式  
※オンラインにて開催予定



朝日政務官挨拶



集合写真

令和3年度表彰式

## 事務局（お問い合わせ先）

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道企画課 企画調整係長 大森 匠、河合 佳枝

代表：03-5253-8111(内線34-136) 直通：03-5253-8427 E-Mail：kawai-y2yy※mlit.go.jp

※を@に変えて送信してください

# 第14回グランプリ

令和3年度(第14回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」

## イノベーション部門

応募事例名

### 都市代謝施設の集約化を活かした資源循環・有効利用の取り組み

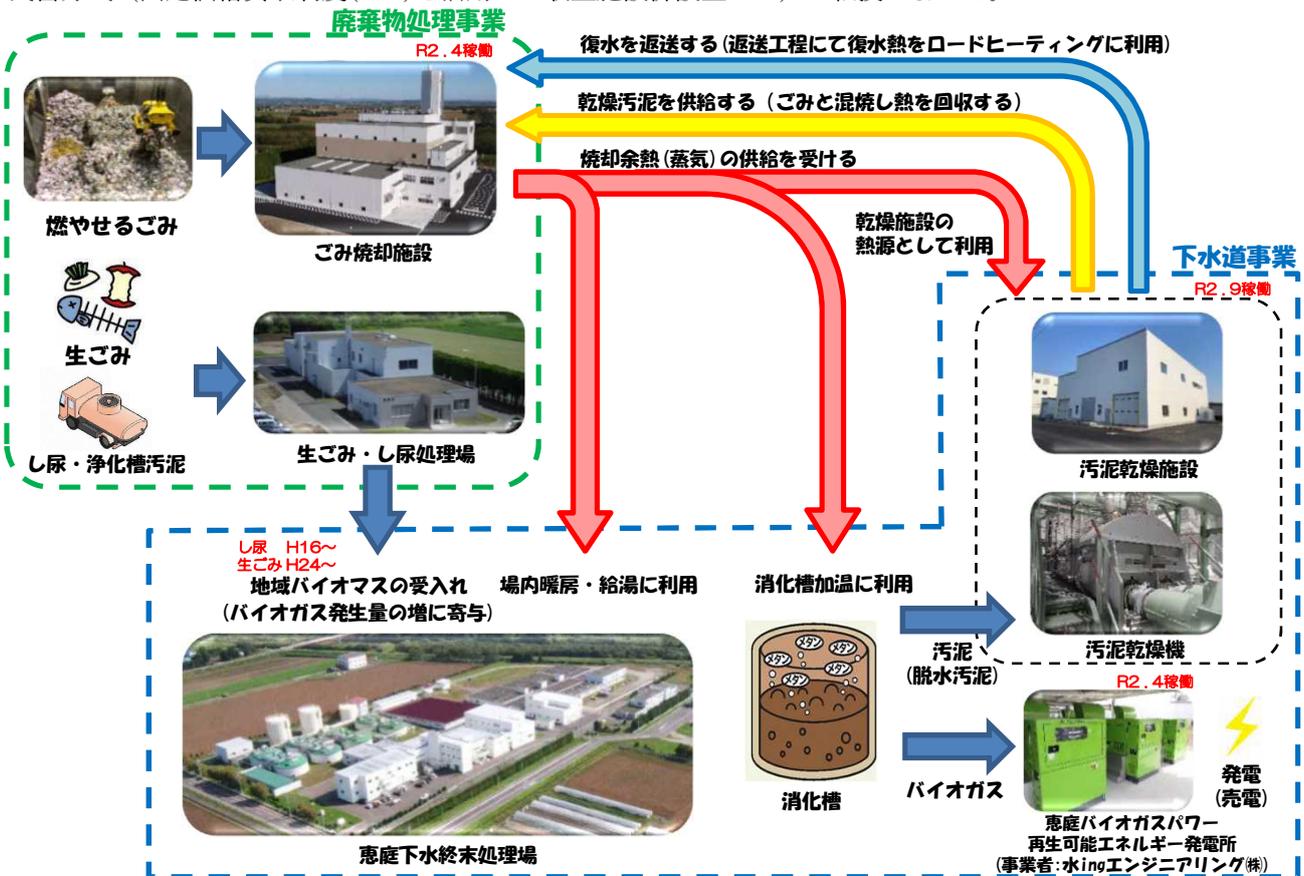
(応募団体名) 恵庭市 (株)NJS 日本下水道事業団 水ingエンジニアリング(株)

#### 応募事例の概要

恵庭下水終末処理場では平成24年度から下水汚泥と地域バイオマスである生ごみ、し尿・浄化槽汚泥とを混合処理し、下水道システムを活用したバイオガス発電事業に取り組みで参りましたが、令和2年度から廃棄物処理事業所管のごみ焼却施設が下水終末処理場の隣接地に設置され、都市代謝施設の集約化が図られることを活かし、下水道事業として新たな資源循環・有効利用の取り組みを開始しました。

一つ目の取り組みは、焼却余熱を熱源とする汚泥乾燥施設を整備し、汚泥の減容化を図るとともに生成された乾燥汚泥を焼却施設に供給し、熱回収する取り組みです。なお、この取り組みでは、復水熱を利用したロードヒーティングも併せて整備し、熱エネルギーを最大限有効利用しています。

二つ目の取り組みは、焼却余熱を消化槽や場内暖房などの既設加温設備の熱源として利用することで、これまで加温に使っていたバイオガスを発電用途に転用する取り組みです。バイオガス発電事業はこれまで直営で運営していましたが、発電用バイオガスの増量を契機とし、民間企業の資金とノウハウを活用した民営方式(固定価格買取制度(FIT)を活用した収益施設併設型PPP)に転換しました。



#### PRポイント

- ・他事業間連携 ・下水汚泥の減容化(約1/3※1)
- ・バイオガス発電量の増(約2.5倍※2)。発生バイオガスのほぼ全量を発電に利用(99.7%※2)
- ・ネット・ゼロ・電力エネルギーの達成(発電量361万kwh/年>電力使用量331万kwh/年※2)

※1 脱水汚泥(含水率80%)から乾燥汚泥(含水率40%)への重量の変化 ※2 令和2年度実績